



川越市更生保護女性会

第22号



新井会長ごあいさつ

あいさつ

会長 新井 とよ

昨年5月やまぶき会館での総会において、原田前会長より退任のご挨拶をいただきました。体調面を考慮し、今後は相談役として私たち川越更女会を支援してくださいませ。原田前会長は更生保護女性会の趣旨に強く引かれ入会されたと同様でございます。更女会の活動に情熱を掛けて取り組み、会長として私

ち会員をご指導くださいました。平成27年には子育て支援活動を手掛けて記念誌の発行に着手し、28年10月21日には盛大な記念式典を挙行することが出来ました。原田前会長のご尽力のお蔭と会員一同心より感謝しております。偉大な先輩の後任という重責にとまどっておりますが、まずは従来のご行事を遂行していく所存です。

更生保護は非行や犯罪のない明るい地域社会づくりをめざし、罪を犯した人が再び社会の一員として立ち直ることを助ける制度です。引き続き次世代を担う子供たちの健全育成を願って、支援活動を進めていきたいと思

います。会員一人一人が相手を思いやり、前向きに明るく活動が出来ます様、御支援御協力を宜しくお願い申し上げます。

今年度原田前会長が相談役となられたことにより、新役員を紹介いたします。

「役員紹介」

- 会長 新井 とよ
- 副会長 田邊 純子
- 副会長 小川 道子
- 会計 西村 雅子
- 会計 新井 ハツ
- 監事 野崎 昭子
- 監事 松平 静江
- 書記 諸星すみ江
- 書記 福羅喜代子

社会を明るくする運動

第3地区 諸星 すみ江

今回から「社会を明るくする運動」は川越駅コンコース上の活動になりました。7月2日午後3時より川合市長はじめ関係者のご挨拶があり、市役所職員、保護司、関係者、私たち更女5名の百数十名が集まり、うちわ・ティッシュ・案内文を手手に、通行中の皆様方にお配りいたしました。短時間の活動ではありましたが、良かった点は雨が降らず、参加者同志の連帯感を持つことが出来たことです。

当日川越駅では通行人が少なく盛り上がりはいまひとつでしたので、活動場所の御一考をと思った一日でした。



西ブロック研修会



さいたま保護観察所長の講話

当番地区の任を終えて！

実行委員長 田邊 純子

溢れる陽ざしが眩しかった令和元年9月25日、思わず身震いしたあの朝の、あの緊張感が今も忘れられない。平成から令和に改まった元年を、只々慌ただしく過ごして来た様に思う。県連盟が幹する更生保護女性会々員が集い、学び合うブロック研修会。その西ブロックの当番地区として、11地区からの会員が一同に集える会場を探すべく、前年の11月から準備に入った。県連盟の要請で、会場や日時の決定を提出する期日があるからだ。

名所、旧跡と歴史的な建造物を誇る観光地の川越。しかし条件を充たす会場探しには苦慮した。公共は勿論のこと、民間施設も含め思い当たる所は回った。交通などの利便性に欠けるなどいずれも不十分だった。それらの情報を基に、ブロック長に進行状況の相談をした。しばし時を経てブロック長の尽力に依り、ウエスタ川越が会場に

許可された時には、パンザイ、と声をあげた。費用も使用条件も厳しい所ではあるが、ウエスタ川越での研修

会は、遠方から来られる皆様にも、喜んで頂ける最新施設。ほとと肩の荷が下りた。

実行委員会は理事と地区会員で構成。行程要項は分り易くまとめた。主な打合せを理事会で進め全体会議は2回。時間短縮を図った。ポジション毎のリーダーを中心に分担作業を把握し

た。団結のシンボルは緑のエプロン、自然体で和やかに！一人一人が素敵だった。実りの豊かさ花々の優しさでお迎え、川越の祭囃子でお見送り。研修を終えた皆様の笑顔が、私たちへ労いの言葉が何よりだった。この経験と共に語り合いたい。ご支援下さったすべての皆様にご心から感謝して。



会員提供による作品

西ブロック研修会に参加して

福原地区 金原 忠子

9月25日朝のウエスタ川越、何度も訪れた事のある会場、足を踏み入れホテルの会場を思わせる厳肅さと気品に満ち、且つ秋一色のシックな設営、あまりにもいつもとは違う雰囲気

を正しました。担当して下さいた人たちの思いを肌で感じながら着席。講義でのさいたま保護観察所長岸規子氏の話はとても興味深く、幼い日の環境が如何にその人の人生を左右するかを感じました。私は今回グループ討議に関心を持ち各地区からどんな意見が出されるか楽しみでした。私のグループは「安心安全なまちづくりのために保護司会・学校・各種団体との連携・協働活動をどのように行なっていますか？」を話し合いました。更女の会を表面に出せず陰の力で活動との意見あり、会自体がまだ知られておらず愛の募金も現実には厳しい状態を認識、そんな中でも西ブロック各地で更女会員ひとりひとりが地道な活動をしている事が解り、私自身素晴らしい会に席を置いている事に誇りを持ち、これからもリーダーを中心に地域に根を張っていききたいと帰路に着きました。

川越少年刑務所体育祭に参加して

霞ヶ関地区 福羅 喜代子

6月6日、暑さの厳しい日でした。

警備の扉を抜けた先のグラウンドには多くの少年たちが号令と共に整列していました。特別な緊張の中始まる競技、綱引き、リレー…。強い日差しと舞い上がる土埃。その中で懸命に競う姿に応援の拍手を送りました。

「ファインプレー、力を合わせて成し遂げる事の大切さを学んでほしい」と熱く語る指導者の言葉が印象的でした。

『掴み取れ、令和最初の優勝旗』と大きく記され、ここにも更生を願う思いが込められていると実感しました。

ふれあい福祉まつりに参加して

霞ヶ関地区 水村 清美

令和元年、5月19日(日)第29回

ふれあい福祉まつりが開催され

ました。私たち更女は、昨年同様会場案内を致しました。来場者は、好天に恵まれ、とても多かったように思います。美味しい椎茸を買ったり、折紙コーナーではコマの折り方を教えて貰いました。フラダンスの方たちの鮮やかな衣装に目を奪われたりしている内に、最後のステージとなり「手話の会」の方たちの発表で幕を閉じました。

一日を通して障害のある方たちが生き生きと参加されているのがとても印象的でした。



川越少年刑務所の

誕生会に参加して

第3地区 横山 恵美子

4月16日誕生会に更女会員4名で参加いたしました。先ず所長さんから刑務所の特徴と現状、誕生会についての説明を伺いました。その後伺った会場には、約40名程の方が、ドーナツとカップの置かれた机の前に姿勢を正しく座っていました。甘い物を摂る機会は少なく、誕生会を楽しみにしているとの事です。個々の会話などはできませんが、

「お誕生日おめでとうございませ」と声をかけながらヤカンに入ったココアを注いで回ると皆丁寧な礼を返してくれました。その姿から刑に服し更生の道を歩んでいるであろう皆さんが、再び犯罪に走る事なく生活できる世の中であって欲しいと改めて感じさせられました。

有明高原寮を訪問して

第3地区 内呂 美智子

10月21日、会員30名でラジオ

ドラマ「鐘の鳴る丘」のモデルと



して、地域に人に愛される「有明高原寮」を訪問してきました。全国でも一つしかない、フェンスも格子もない、開放的な少年院でした。現在、12歳から20歳未満の男子8名が収容されているとのこと。在院中は教官との温泉カウンセリング、地域の運動会参加など施設内外の方々とのふれあいを通して、社会で再出発しようとして、心のケアと心の絆の回復のための矯正教育が行われていました。明るい夢を見出し、確実に踏み出せるように力を付けてほしいと願ってやみません。

受賞おめでとう

関東地方更生保護大会

令和元年十月二十五日(金)

宇都宮市民会館

○関東地方更生保護女性連盟

会長表賞 田邊 純子

第66回埼玉県更生保護大会

令和元年十一月十九日(火)

戸田市文化会館ホール

○さいたま保護観察所

所長感謝状 市来 文子

長島 幸子

徳田美智子

三島 晴代

急式 悦子

○埼玉県更生保護女性連盟

会長表賞 奥富 佳枝

谷口千恵子

安達 昭子

横川 博子

高橋 和子

長田 汎美

塩川 春江



愛の募金より

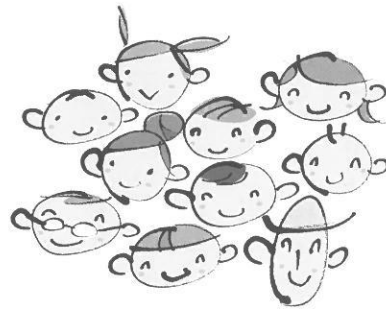
図書費の贈呈

毎年会員の皆様が一人でも多くの方へ声掛けを！とご活動いただき誠にありがとうございました。今年も愛の募金より市内の小学校5校へ愛の図書費をお届けさせていただきました。令和元年11月13日に理事4名が、霞ヶ関西小・霞ヶ関南小・霞ヶ関北小・川越西小・名細小へ訪問しました。どちらの学校でも校長先生からお礼の言葉をいただきました。



川越西小校長室にて

だき「子どもたちがたくさん良い本を読んで、心豊かに育って欲しい。これからも更女会の活動を応援します。」とのことでした。未来ある子どもたちのために今後も頑張っていきたいと思えます。



今年度も皆様より多くの募金をいただきました。感謝申し上げます。

愛の募金

募金総額	681,407円
県更女連盟	170,000円
地区活動費	511,407円

上記の通りご報告致します。

会計 西村 雅子
新井 ハツ

編集後記

2019年5月から令和の新しい元号に変わり、心新たに、更女会も動きだしました。

新しい役員も決まり、皆様にご協力いただき、西ブロック研修会も無事おえることが出来ました。

今でも会場のコーディネート、ススキ・柿・栗・こんにやく芋・ポポー・さくろなどを思い出し

ます。研修日の前日に大雨の中を花材提供者宅に集合。ズボンの裾を泥々にしながらの準備となりました。当日は撮影タイムを設けるほどの盛況ぶりでした。

お忙しい中発行にあたり、寄稿や写真をご提供下さった皆様からお礼申し上げます。

(松本)



広報委員

小川・榎本
松本・水村

令和二年三月三十一日発行

川越市更生保護女性会

連絡所

川越市岸町一丁目四十九番一(新井)
☎〇四九一三二二二七二〇